



新ビジョン

みなとチームからの提言

みなとの元気がまちの元気！ふくおかを支えるみなとづくり

添	田	晃	60歳
桑	田	容子	53歳
松	本	光正	61歳
中	村	晋太郎	60歳
壱	岐	和久	60歳
園	田	志功	63歳
小	嶋	慎太郎	57歳
釘	宮	大輔	62歳
千	綿	啓介	62歳

※年齢は25年後

■ 博多港の姿～博多港のあの時と現在～	P1
■ 現状分析	P2
■ 未来予想～25年後の博多港をとりまく状況とその時博多港は～	P4
■ みなとチームからの提言にあたって	P6
■ 提言その1『人流編』	P11
■ 提言その2『物流編』	P17
■ まとめ	P24

博多港の姿 ~博多港のあの時と現在~

空から博多港を見てみよう ☁️

昭和58年

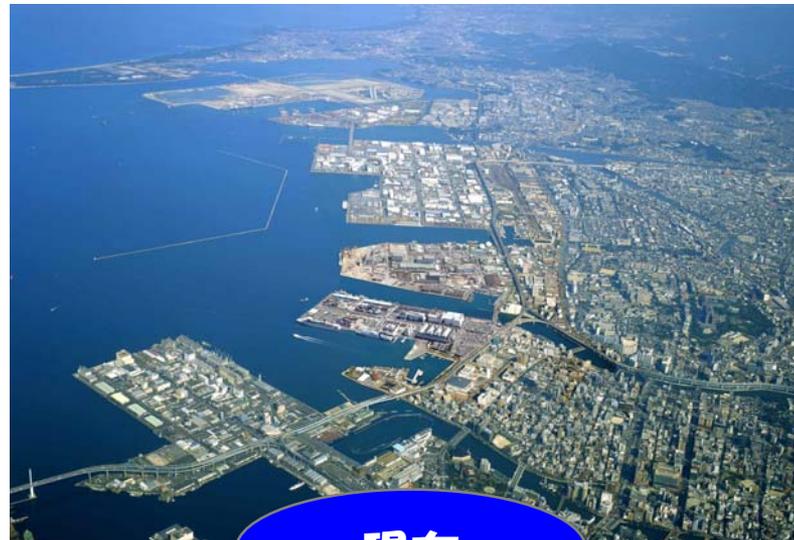
アイランドシティがない

荒津大橋がない

あの時

ドームがない

昭和63年



現在



これまでの25年の振り返り

世界の動きは？

- 東西冷戦の終結
- GATTからWTOへ :「世界の工場」中国が2001年にWTO加盟
- 経済面における新興国の台頭 :NIEs(韓国、台湾、シンガポール等)とBRICS(中国、インド、ロシア等)
- 物流の変化 「コンテナ」「サプライチェーンマネジメント」「ジャストインタイム」
- 地球サミット(リオ宣言) :持続可能な開発、アジェンダ21、気候変動枠組み条約、生物多様性条約

日本では？

- プラザ合意後の円高
- バブル景気→バブル崩壊
- 企業の海外進出、生産拠点の海外移転
- 海外旅行ブームとブームの終焉
- 人口減少時代へ突入
- 高速交通ネットワークの充実

現状分析～成長してきた博多港～

統計データ

■国際海上コンテナ取扱個数
58,350TEU

■海上出入貨物
19,832,898トン

※主たる貿易相手国と品目



物の流れ

1986年

人の流れ

■外国航路乗降人員数
0人

■内国航路乗降人員
1,336,889人

全国第6位

■国際海上コンテナ取扱個数
748,580TEU

■海上出入貨物
29,670,823トン

※主たる貿易相手国と品目



物の流れ

2010年

人の流れ

18年連続
全国第1位

■外国航路乗降人員数
872,892人

■外航クルーズ入港数 63回

全国第1位

■内国航路乗降人員
1,121,248人

四半世紀
の時間が流れ

13倍

1.5倍

皆増

減少

25年後

25年後の博多港を取り巻く状況は？

- グローバル市場の新たな時代到来 FTA/EPA/TPP
- アジアのマーケットが更に巨大化:ポスト中国の登場
- 世界的な水不足や食料ニーズの変化
- エネルギー革命による化石燃料依存からの脱却
- 高付加価値産業が支える日本経済
- 福岡市は商業中心から、コンテンツや観光を織り交ぜた知識産業のまち
- 環境政策は守ることから創るへ！！環境にお金をかけることが常識化

経済のグローバル化が進展し、アジアがますます成長していく中、博多港が世界中の元気を集め、福岡市・九州の経済を支える港として選ばれ続けていくため、物の流れの変化に柔軟に対応していく

25年後

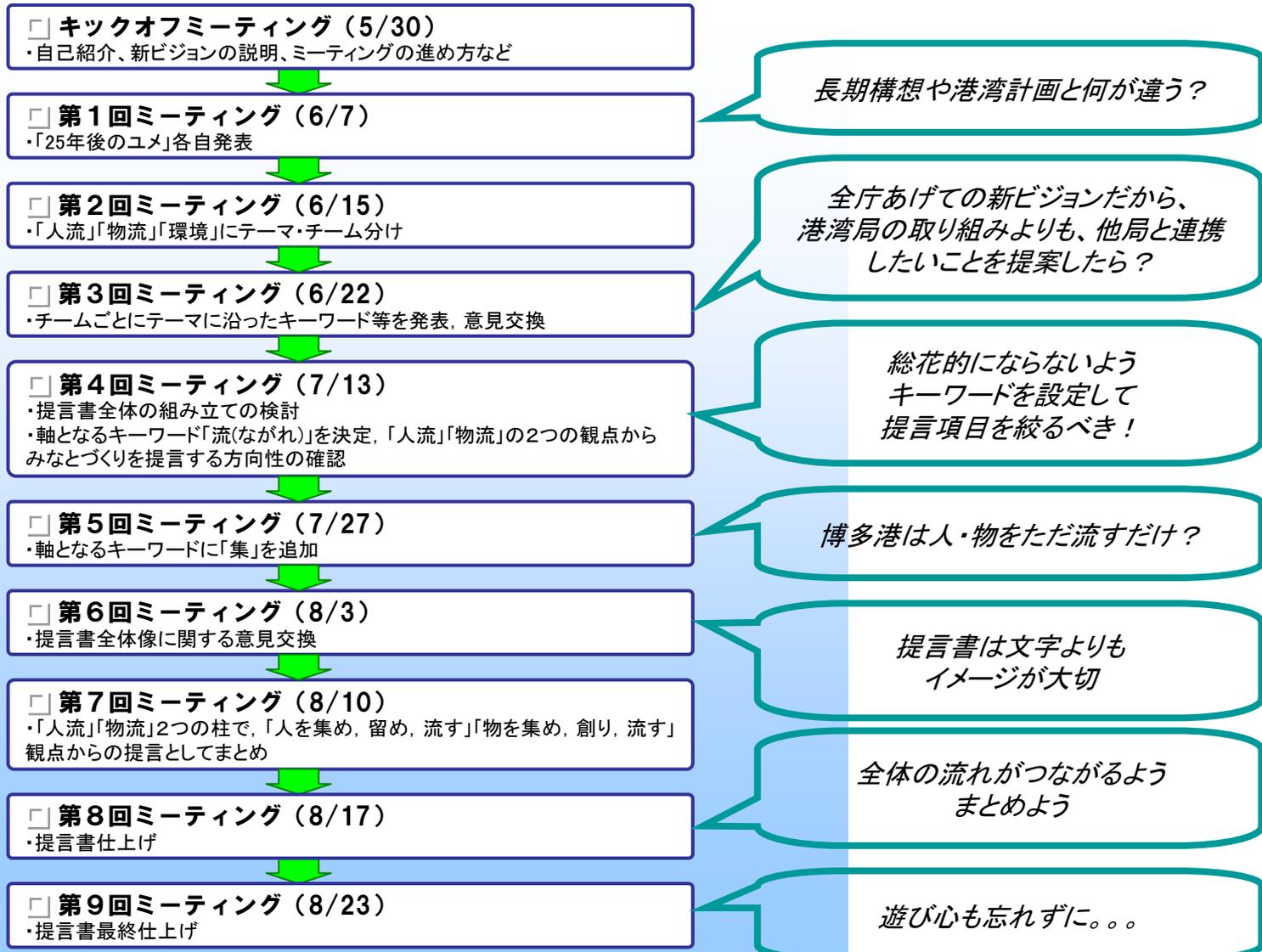
25年後の博多港を取り巻く状況は？

- グローバル市場の新たな時代到来 FTA/EPA/TPP ※再掲
- 新興国の生活水準の向上による海外旅行者数の増加
- 新興国を中心に企業活動の国際化がますます進展
- 日本の人口は減少し高齢者が増加
- 福岡市も人口減少へ突入

日本全体が人口減少し経済が縮小する一方、ビジネス・観光の両面でアジアとの日常的な交流がますます進んでいく中、アジアの活気を集め、交流人口を増やすために、博多港が先導的な役割を担っていく

みなとチームからの提言にあたって

取り組み状況



みなと千ームからの提言にあたって

テーマは他局との連携

『港湾』のことは、長期構想や港湾計画で十分に議論・検討されている。そこで…

港湾局若手職員による提言は、

『**みなと**』と『**都市**』『**農林水産**』『**経済振興**』『…』との**連携**

をテーマ(主眼)に置きました。

全庁あげての新ビジョンだから、
他局と**一緒**に取り組みたい案、他局に**応援**してもらいたい案を提案します。

みなと **+** 都市
ふらす

みなと **+** 農林水産
ふらす

みなと **+** 経済振興
ふらす

みなと **+** ○○
ふらす

みなとチームからの提言にあたって

提言項目の絞り込み～キーワードの設定～

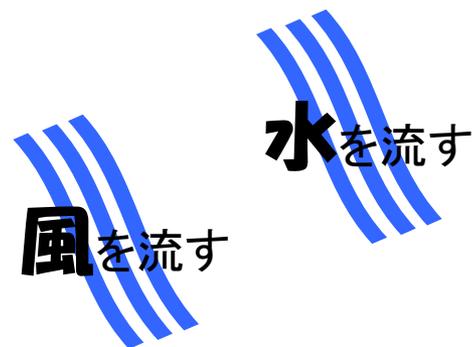
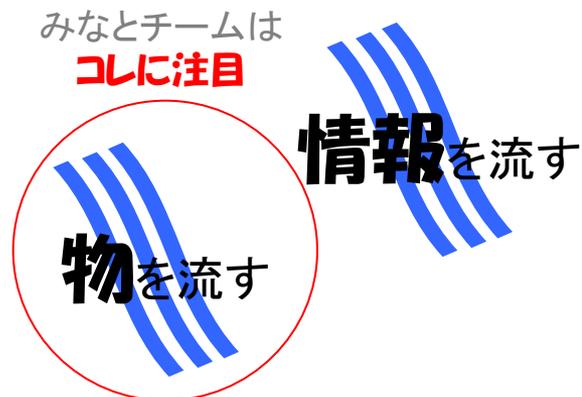
提言したいことはいっぱいありましたが…キーワードを決めて絞ります。

みなとチーム提言のキーワード①

キーワード

『**流**』

川の流れが止まれば水が澱む、血液の流れが悪ければ健康を害する。
人・物・情報・風・水の**流れはまちを活性化させます**。



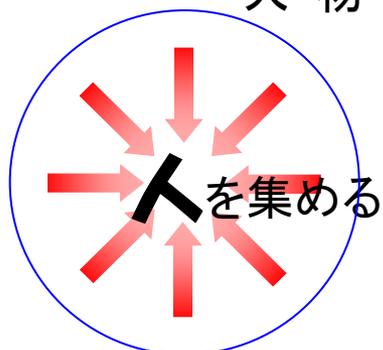
みなとチームからの提言にあたって

提言項目の絞り込み～キーワードの設定～

提言したいことはいっぱいありましたが…キーワードを決めて絞ります。
みなとチーム提言のキーワード②

キーワード
『**集**』

流しっぱなしではいずれ流れは途絶える。そこで、
博多港の、地理的・歴史的優位性を活かして、
人・物・情報・エネルギー・お金を**集めてまちを活性化させます。**

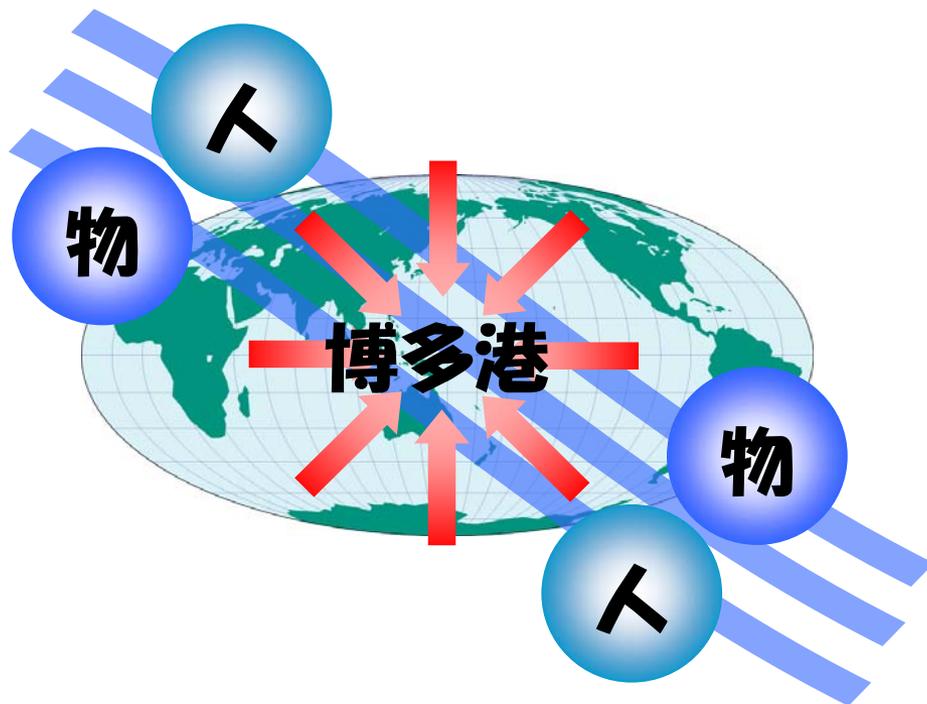


みなとチームは
コレに注目



みなとチームからの提言にあたって

みなとチーム提言のイメージは



キーワード

『集』『流』

博多港に**集める**人や物を円滑に**流す**

『都市』『農林水産』『経済振興』『…』との

連携



みなとチームからの提言その1

人流ひとながれ編



人を『集』めて、人を『流』す！

人口減少の時代、まちの活性化には**交流人口**を増やす必要があります。
そのためには、博多港に人を『集』め、そして円滑に『流』す必要があります。

しかしながら、福岡市が**通過地点**とならないよう『留』める工夫を提案します。

キーワード追加

『人を**集**める』『人を**流**す』そして…『人を**留**める』博多港

では、福岡市での滞留時間を増やすために、

『人を**留**める』にはどうすれば???

案① **夜と朝**の魅力づくり

昼の魅力だけでは日帰りされる。宿泊してもらえるような仕掛けをつくる。

案② **シャワー**効果

デパート最上階の物産展や本屋がデパート全体に人を**流**すように、都心から離れた地区に、**集客力**のある施設を配置することで、市域全体へのシャワー効果を狙う。

以上のうち、みなとエリアで可能なものを考えました。

提案1 ウォーターフロントと路面電車

人を魅惑する**ウォーターフロント**の創造
大博通りの**路面電車**が、日本を世界に繋げる

ウォーターフロントに人を集め、そして留める機能を強化するとともに、
『博多湾』と『博多駅』を大博通りの路面電車結びます。

『人を集める』 はかたを日本のマイアミに / 昼のコンベンション

- クルーズターミナルを新設し、アジアクルーズの拠点に
- マリンメッセや国際会議場などコンベンション施設年間約275万人(H21)を更に充実させる。
- 会議やイベントを自ら企画 交易促進のための商談会 / ブランド食材食品出店会

『人を流す』 大博通に路面電車(2階建て)

- 国際ターミナル年間約87万人(H22)・国内ターミナル年間約112万人(H22)を再整備
- ターミナルに集まる人々を博多駅まで路面電車ですす。2階建て路面電車は観光にも貢献
- 臨海公園の設置、博多口駅前広場の立体利用(地下・地上・デッキ)を行い、路面電車の起点終点の空間強化
- 呉服町を交通結節点として整備(まちかど広場、シェルター、地下通路など)し、博多部の活性化にも寄与

『人を留める』 夜の中華街や屋台 / 朝の魚市場

- ベイサイドプレイスを中華街に(もしくはコリアンタウン)
- 国際会議場前の広い歩道に屋台
- 魚市場の新鮮な魚で朝食
- 競艇場を水上エンターテイメント施設に



Port of Miami HPより

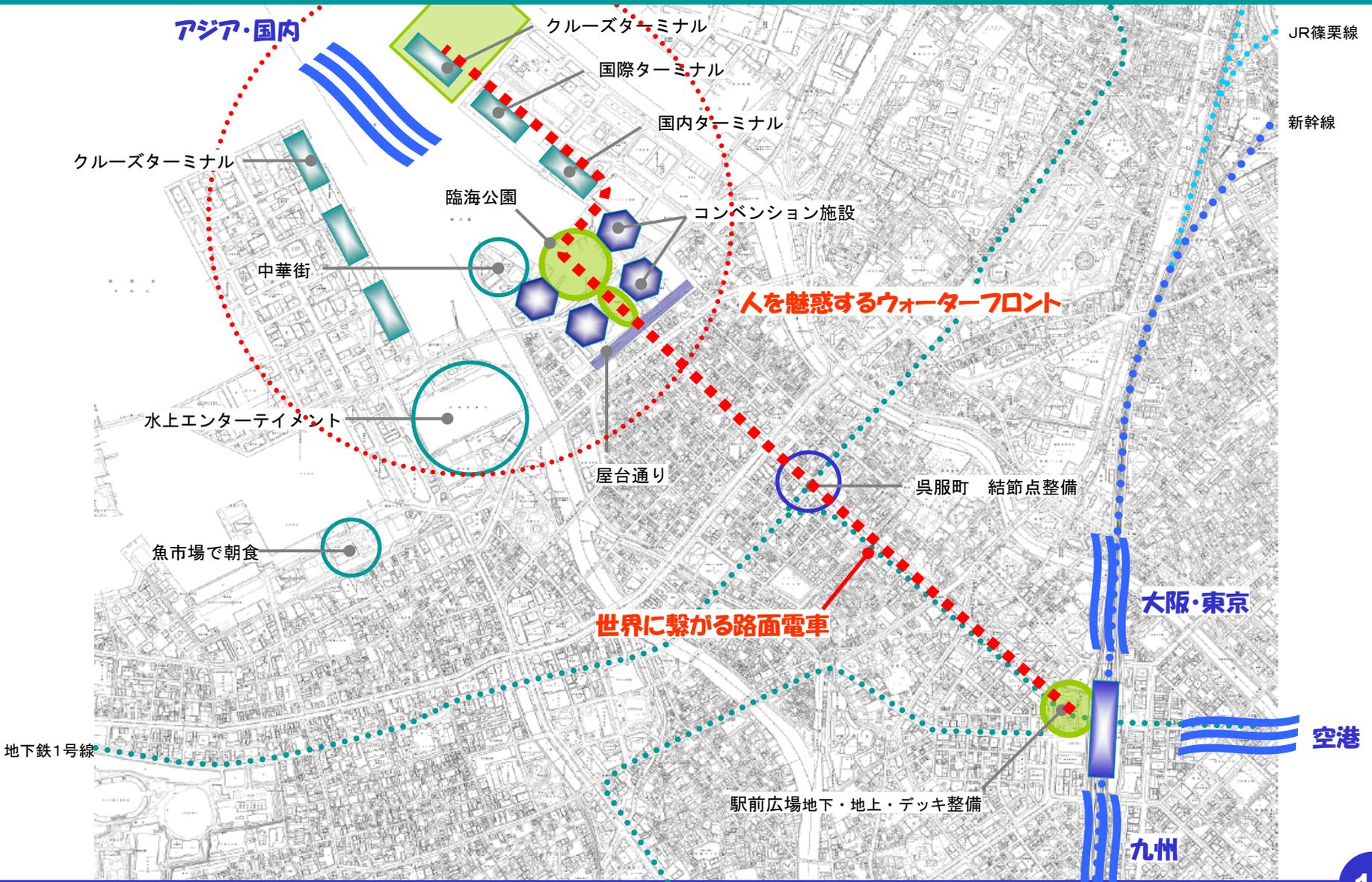


香港電車有限公司HPより



水上エンターテイメントのイメージ
Marina Bay(シンガポール)HPより

提案1 ウォーターフロントと路面電車



提案2 グリーンアイランド

アイランドシティに人を引き付けろ！！

アイランドシティに人を集め、留める仕掛けをつくり、市地域全体へ人を流します。

『人を集める』 グリーンアイランド～島全体を環境配慮型のまちに！～

環境に優しいまちづくりを続けてきたアイランドシティは、いつしか「グリーンアイランド」と呼ばれ環境共生の世界モデルに。

- 世界中の人を、「環境ビジネス創造センター」に集め、研究・人材育成・教育を行う
- 野鳥が集まる野鳥公園に人が集まる

『人を集める』 文化産業の拠点～次世代の産業を創りだすまちに！～

豊かな自然と都市が調和したアイランドシティは、発想力が高まるまちとして、世界中のクリエイター達が集まっています。

- 文化産業(ファッション、コンテンツ《映像、画像、音楽、ゲーム、アニメ》等)等の集積
- 大ヒットしたゲームのパッケージ原画や最先端映像を展示・体験できるコンテンツアート美術館

『人を流す』 公共交通の充実～交通利便性の高いまちに！～

- 鉄道、バス、水上バスなど様々な公共交通が選択できる交通体系の確立

『人を留める』 高度医療の集積～高度な医療技術を提供するまちに！～

- 海外からから治療、診断目的の患者を受入れ、滞在中に併せて観光も行ってもらう
- 海外からの留学生を受入れ、医療研修を実施
- 西戸崎のリゾートとパッケージ化した医療ツーリズム



Wikipedia東京ゲームショウより



提案3 能古アイランド

都心から遠くて近い自然豊かな**能古島**が、福岡の魅力を高める～福岡でもう1泊～

ノコノコ橋を渡って能古島を訪れたい、そんな思いが、人々を福岡に留まらせます。



『人を集める』 博多湾にノコされた観光資源の掘り起こし

- 現状でも十分すぎる島の魅力をフィルムコミッションで発信
- 昼のイベントを企画 ツール・ド・ノコ / ノコトライアスロン
ノココウオーキング

能古島

座標：北緯33度37分15秒 / 東経130度18分12秒

面積：3.95平方キロメートル

海岸延長：約12キロメートル

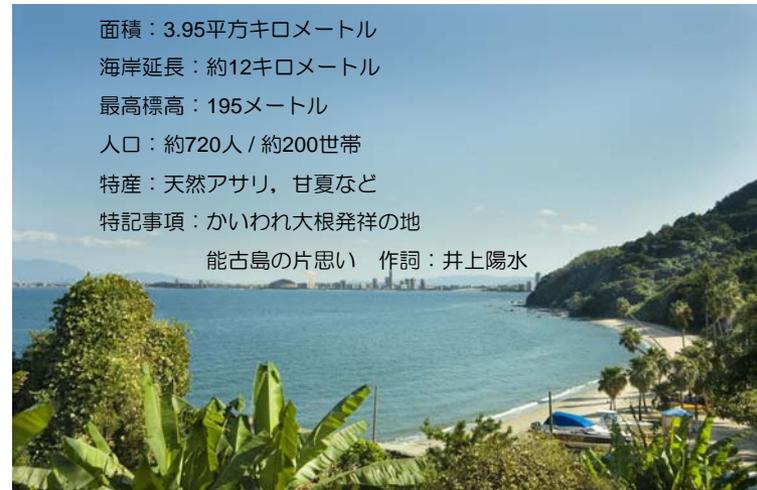
最高標高：195メートル

人口：約720人 / 約200世帯

特産：天然アサリ、甘夏など

特記事項：かいわれ大根発祥の地

能古島の片思い 作詞：井上陽水



『人を流す』 ノコノコ渡れる橋を架ける

- 能古島～マリノア(約2km)に、公共交通と自転車・歩行者専用道路の橋を架ける(島民以外の一般車両は排除)
- マリノア付近に駐車場を整備して公共交通やレンタサイクルに乗り換え
- 橋そのものを観光資源化
- 市営渡船は博多ふ頭やIC, 西戸崎から能古へ(観光船化)

『人を留める』 もう1泊 能古島・福岡にノコってもらう秘策

- 夜のイベントを企画 夜桜 / ノフェス・花火大会・肝試し / 観月会 /
今年もノコりわずかカウントダウン・初日の出
- 150万都市が創りだす夜景
- 自然と共存したビレッジ方式の宿泊施設
- 線引きの見直しと、乱開発を防ぐ都市計画規制



みなとチームからの提言その2

物流ものなかれ編



物を『集』めて、物を『流』す！

博多港は、アジアの各都市と国内の各都市との橋渡しの役割を担ってきましたし、これからも担い続けます。

しかしながら単なる物の**通過地点**だけでなく、
博多港で**付加価値**を加えた物を**創り出す**ことを提案します。

キーワード追加

『物を**集**める』『物を**流**す』そして…『物を**創**る』博多港

なぜ、『物を**創**る』のか？？？

博多港の主力輸出品はタイヤや車。
しかし、これら製品は福岡市で作られていません。

もし、タイヤ工場の近くの港が博多港より便利になったら…
もし、タイヤ工場自体がなくなったら…
博多港の地位は維持できるのでしょうか。

博多港が**貨物を安定して獲得**できるよう、

世界に通用する**福岡ブランド**の製品を博多港で創る
ことを提案します。

また、国内の輸出産業が伸び悩んでいる中で、
博多港にどんな『物を』どうやって『**集める**』のか？？？

今は、外国産の食材の輸入が盛んですが
国産の輸出はほとんどありません。

でも、東アジア諸国の「世界の工場」が購買力をつけて「世界の市場」になったとき、
安心・安全で美味しい日本のブランド農産物は世界と戦えます。

博多港は、既に立地している鮮魚・食肉・青果市場や、充実している国内輸送網、
そして巨大市場である東アジアとの近接性を活かして、
ブランド食材の輸出拠点になることを提案します。

そして、博多港に物を集めるために、
博多港の強みである陸・海・空の充実した国内輸送網と東アジアとの近接性に加えて、
「**物流コストの低減**」と、「**手続の簡素化**」により、
日本一使いやすい、選ばれる港になることを提案します。

提案1 アジアの台所『Kitchen of Asia』

アジアの台所から、いつでも**新鮮なブランド食材**をお届けします。

ブランド農産物は**鮮度が命**！日本の港でこのビジネスが可能なのは博多港だけ！
私たちは博多港が持つ地理的優位性、国内輸送網の充実を遺憾なく発揮します。

たとえばこんな食材・・・

福岡のあまおう、熊本の馬刺し、佐賀の佐賀牛、大分の関さば・関あじ、鹿児島の子島大根、宮崎のマンゴーなど、
青果・食肉・鮮魚市場に集まる新鮮なブランド食材を、早くて安い**RORO船でアジアにGO!**

『物を**集める**』ブランド食材の集荷

- 青果・食肉・鮮魚市場の連携強化 / アジアの台所『HAKATA』
- 生産者・流通業者向けプロモーション

『物を**集める**』利用者ニーズに応える物流ネットワークの充実

- みなとと、高速道路や鉄道などの国内輸送網との連携を更に強化
- 青果・食肉・鮮魚市場の連携強化 / アジアの台所『HAKATA』

『物を**流す**』 RORO船の多頻度・複線化に対応

- コンテナシャーシ(牽引車)の国際間相互交通
- 車上通関の実現
- 中国向けデیلیー航路



東アジアのコンビニに、**お惣菜**をお届けします。

お惣菜は**鮮度が命**！日本の港でこのビジネスが可能なのは博多港だけ！
私たちは博多港が持つ地理的優位性、国内輸送網の充実を遺憾なく発揮します。

たとえばこんなお惣菜・・・

『**がめ煮Gameni**』九州の食材が詰まった『がめ煮』は世界共通語に

『**明太子カルボナーラ**』福岡の明太子を使った『明太子カルボナーラ』が、上海のコンビニで売り上げナンバー1



『物を創る』食品工場の誘致

- 臨港地区での工場設置を可能に(条例見直し)
- 立地交付金

使用料が高い日本のみなとで**価格破壊** ～お値段↓サービス↑～

みなとの元気が都市の経済活動を支えている現実があります。
みなとの弱体化は都市の衰退にもつながります。

物流とは、経済活動と一心同体！つまり最後はコストです。

みなとのコストを下げる案、サービス向上策を提案します。

『物を**集める**』 みなとの使用料をプライスダウン

- 臨港地区やみなと関連企業からの固定資産税、法人市民税の一部を、港湾施設整備費や維持管理費に充て、利用者負担を軽減
- 荒津で生まれた自然エネルギーや倉庫屋根の太陽光発電で創出された電気は、みなと利用者に還元



『物を**流す**』 早くて便利

- ナンバープレートの無いシャーシ(牽引車)が道路通行可能に
- コンテナシャーシ(牽引車)の国際間相互交通
- 車上通関の実現



エネルギー革命が起こったとき、
石油タンクが集積する**荒津**はどのようなだろう？

『物を創る』 荒津で創エネ

- エネルギー革命後に石油タンクが集積する荒津地区を再編し、自然エネルギーの拠点に
- 下水道処理の技術と港湾政策，環境対策の融合
例) 下水処理過程での熱や微生物を有効利用し，電気やメタンガス，メタノールを生産 → みなと利用者に提供

『物を流す』 バラスト水の有効利用

- 下水処理水をバラスト水に利用し、水資源が不足している国や地域へ供給。生物多様性の保全にも寄与

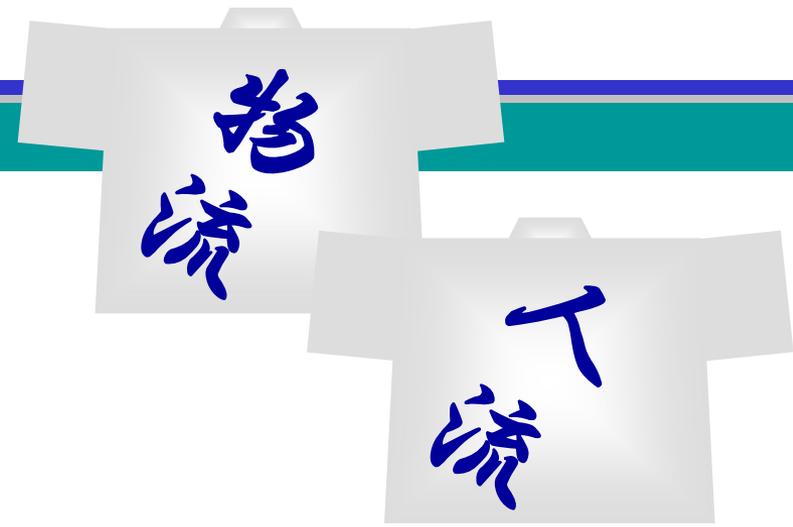
『物を流す』 福岡の美味しい水

- 使わなくなった石油タンカーで、水が不足している国や地域に供給
- 海水淡水化施設で水ビジネス
ガソリン1Lが150円に対して水500mlが130円。福岡ブランドが定着すれば，商機はある！！



まとめ

みなとチームからの提言



みなとチームからの提言は以上ですが、
『新ビジョン』で使っていただけるように、キャッチフレーズにしました

輝く個性で人、物を魅きつけるみなと





実況：タカシマ氏62歳

まとめ

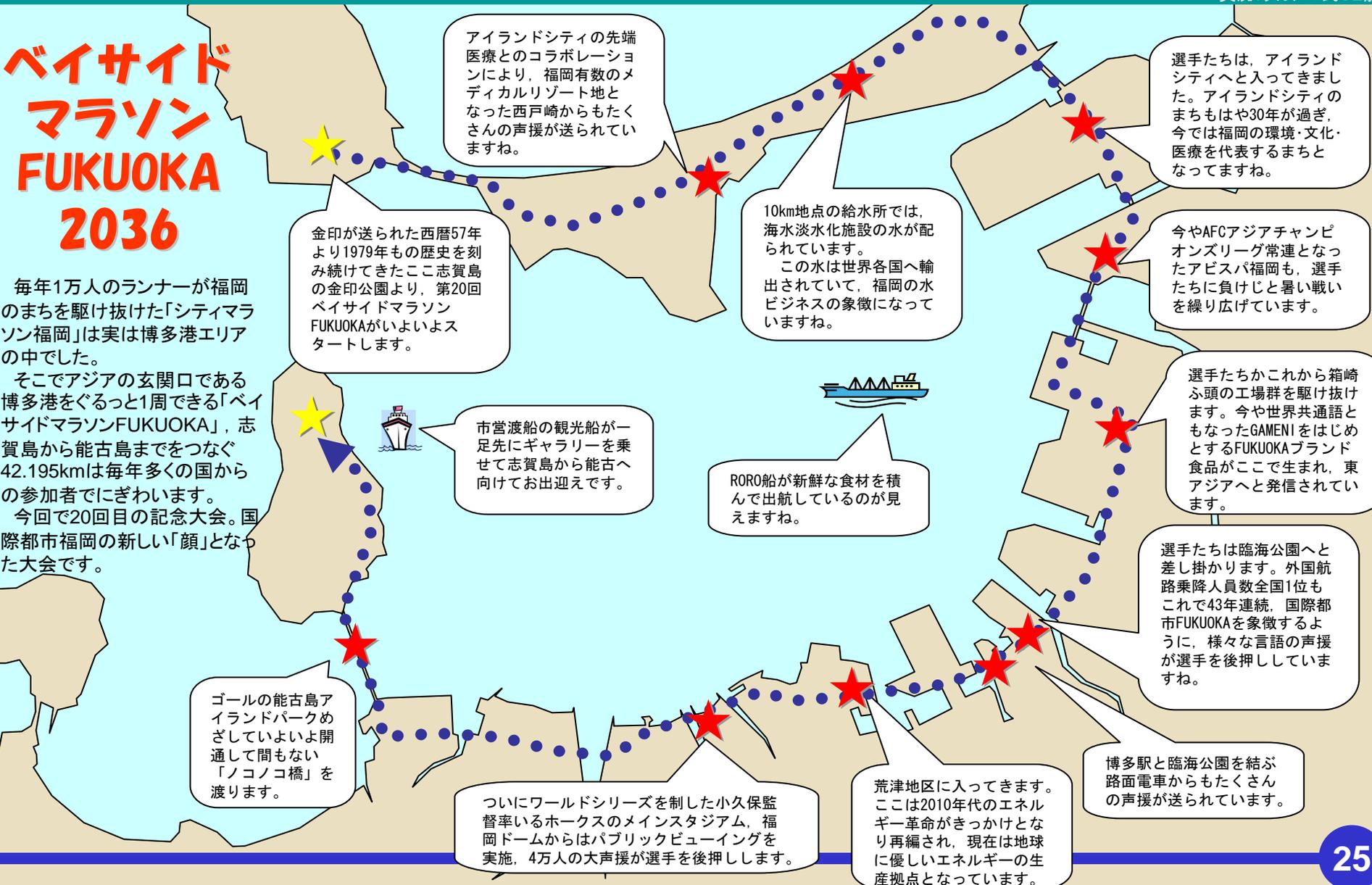
私たちのFUKUOKAをマラソン中継を通して、世界中に発信しませんか

バイサイド マラソン FUKUOKA 2036

毎年1万人のランナーが福岡のまちを駆け抜けた「シティマラソン福岡」は実は博多港エリアの中でした。

そこでアジアの玄関口である博多港をぐるっと1周できる「バイサイドマラソンFUKUOKA」, 志賀島から能古島までをつなぐ42.195kmは毎年多くの国からの参加者でにぎわいます。

今回で20回目の記念大会。国際都市福岡の新しい「顔」となった大会です。



アイランドシティの先端医療とのコラボレーションにより、福岡有数のメディカルリゾート地となった西戸崎からもたくさんの声援が送られていますね。

選手たちは、アイランドシティへと入ってきました。アイランドシティのまちはや30年が過ぎ、今では福岡の環境・文化・医療を代表するまちとなっていますね。

金印が送られた西暦57年より1979年もの歴史を刻み続けてきたここ志賀島の金印公園より、第20回バイサイドマラソンFUKUOKAがいよいよスタートします。

10km地点の給水所では、海水淡水化施設の水が配られています。この水は世界各国へ輸出されていて、福岡の水ビジネスの象徴になっていますね。

今やAFCアジアチャンピオンズリーグ常連となったアビスパ福岡も、選手たちに負けじと暑い戦いを繰り広げています。

市営渡船の観光船が一足先にギャラリーを乗せて志賀島から能古島へ向けてお出迎えです。

RORO船が新鮮な食材を積んで出航しているのが見えますね。

選手たちかこれから箱崎ふ頭の工場群を駆け抜けます。今や世界共通語ともなったGAMENIをはじめとするFUKUOKAブランド食品がここで生まれ、東アジアへと発信されています。

ゴールの能古島アイランドパークめざしていよいよ開通して間もない「ノコノコ橋」を渡ります。

選手たちは臨海公園へと差し掛かります。外国航路乗降人員数全国1位もこれで43年連続、国際都市FUKUOKAを象徴するように、様々な言語の声援が選手を後押ししていますね。

ついにワールドシリーズを制した小久保監督率いるホークスのメインスタジアム、福岡ドームからはパブリックビューイングを実施、4万人の大声援が選手を後押しします。

荒津地区に入ってきます。ここは2010年代のエネルギー革命がきっかけとなり再編され、現在は地球に優しいエネルギーの生産拠点となっています。

博多駅と臨海公園を結ぶ路面電車からもたくさんの声援が送られています。